

フォトコンテスト審査会

と き 平成29年10月5日(木) 16:00～16:50

ところ 山口県医師会6階会議室

[報告: 常任理事 今村 孝子]

対外広報事業として、「いのち きずな やさしさ」をテーマにしたフォトコンテストを今年度も開催した。8回目となる今回も山口県内にとどまらず全国各地から63名、146作品のご応募をいただいた。

今回も審査委員長として、平成27年3月に写真集『結界』で第34回^{どもんけん}土門拳賞を受賞された萩市在住の写真家・下瀬信雄氏を迎え、審査員を河村康明会長、吉本正博副会長、そして広報委員の堀哲二先生、渡邊恵幸先生、長谷川奈津江先生、岸本千種先生、石田健先生にお願いした。

審査会当日、会議室に並べられたすべての作品を見てみると、見る人を明るくさせ、心を癒してくれる写真ばかりであった。この中から、最優秀賞、優秀賞、下瀬信雄賞を各1点と佳作4点、及び今年度から新設したこども賞1点の計8点の選考を開始した。

審査方法は例年同様、まず各審査員に付箋を8枚ずつ配付し、気に入った作品に貼るというものである。各審査員はそれぞれの感性を活かして、真剣な面持ちで次々に付箋を貼り付けていった。第一次審査では、146作品の中から約40作品が選ばれたが、どれも力作揃いで、下瀬審査委員長によると“甲乙つけがたい”とのことである。選ばれた作品を集め、各審査員が今度は付箋を5枚ずつ貼っていき、その後、下瀬審査委員長の進行のもと、審査員の協議により審査が進められた。被写体の表情、構図、光の使い方だけでなく、それらを通して伝わる撮影者の「伝えたいメッセージ」がわ



かる、あるいは「発見」、「感動」がはっきり出ている作品が審査員の心を捉えたようである。審査開始から約40分後、最優秀賞、優秀賞、下瀬信雄賞、佳作4点、こども賞1点の各受賞作品が決定した。

なお、受賞作品については11月12日(日)に開催した県民公開講座(次頁)にて表彰式を行い、下瀬審査委員長による講評も行っていただき、応募いただいたすべての作品展示も同時に開催した。

ご応募いただいた皆さま、審査員の皆さまに深く感謝いたします。

